

## 場所・面積

愛媛県今治市、4.2ha

## 管理目的

東芝ライテックグループは、東芝グループの環境基本方針である「かけがえのない地球環境」を健全な状態で次世代に引き継いでいくことは、現存する人間の基本的責務」に基づき、生物多様性保全に寄与する活動を展開している。[環境活動 | 東芝ライテック\(株\) \(tlt.co.jp\)](#)  
今治事業所では『人と地球の明日のために』を心掛け申請サイトにおいて、地元小学校児童環境教育また地域の生物多様性保全管理を目的としている。

## サイト概要

織田ヶ浜は、瀬戸内海沿岸の砂質海岸で砂丘は発達していない。海浜植生の優占種はハマゴウであり、一部テリハノイバラが混生している。海浜植生は、ヤシ類の植栽とコンクリート護岸によって分断され、家屋等が近接している。夏季には海水浴等の来訪者が多く訪れることから、地元住民等による清掃活動が頻繁に行われている。経済活動等の利用が続いているものの、現在残されている海岸には愛媛県レッドデータブック掲載種も確認されており、サイト内には県条例によって特定希少野生動植物に指定された植物2種の保護区も設置されている。



## 土地利用の変遷

かつては海岸に面する各集落が「ハマ」として利用していた。利用は生活に関わるものや祭事に関わるもの等多岐にわたり、地域と密接に結びついていた。近年は地元の憩いの場所という共有財産価値に加えて、海水浴等のレジャー用途による地域外からの来訪者も多い。

## サイト周辺の環境

織田ヶ浜の海域は瀬戸内海国立公園に指定されている。サイトの北側は埠頭となっており、工場が立地しているが、海岸沿いにマツ林が整備され、公園としても親しまれている。サイト南側は頓田川河口に接している。

## アピールポイント

サイトは地域住民と密接に結びつきながら、海水浴等の憩いの場として活用され続けており、地域住民にとって「共有の財産＝地域資源」として認知され、日々の生活に根付いている場所である。地域資源保全において保護区の設定は直接的な利益の享受者が曖昧となり活動の主体と地域との関係性が希薄になることがあるが、地域の共有財産であるという認識が行政が設定する保護区と比較して強い。

## 生物多様性の価値

## 価値（6）希少な動植物種が生息生育している場あるいは生息生育している可能性が高い場

## 【場の概況】

織田ヶ浜は、瀬戸内海沿岸の砂質海岸で砂丘は発達していない。海浜植生の優占種はハマゴウであり、一部テリハノイバラが混生している。海浜植生は、ヤシ類の植栽とコンクリート護岸によって分断され、家屋等が近接している。現存する海岸植生は限定されるものの、愛媛県レッドデータブック掲載種も確認されている。

## 【確認された希少種】

環境省RL及び愛媛県RDB掲載種として、植物5種（ハマニガナ、アキノミチヤナギ等）、昆虫2種（ヤマトマダラバッタ、オサムシモドキ）の希少種が確認されている。

**生物多様性の価値****価値（9）既存の保護地域又は自然共生サイト認定区域に隣接する若しくはそれらを接続するなど、緩衝機能や連続性・連結性を高める機能を有する場****【場の概況】**

織田ヶ浜の南端は頓田川河口に接しており、その南側には唐子浜（瀬戸内海国立公園内）が続いている。唐子浜の概況は次のとおりである。

**唐子浜**

延長約1.8km 愛媛県今治市古国分1丁目  
砂浜幅約90m。海岸背後に堤防はない。海岸背後には砂丘植生やクロマツ林が発達。  
汀線方向にコウボウムギが、陸側にハマゴウが広く群生する。

**【主な植生】**

ハマヒルガオ、ハマゴウ、ハマダイコン、オカヒジキ、ツルナ、コウボウムギ、ハマエンドウ、ハマボウフウ（愛媛県RDB準絶滅危惧種）、ハマオモト、ハマニガナ（愛媛県RDBⅡ類）等

**【隣接・接続する保護地域等】**

志々満ヶ原唐子浜鳥獣保護区（72ha）

**【緩衝機能や連続性・連結性の機能】**

海浜植物の絶滅リスク低減のためには海流散布による海浜間の種子の移動が重要である。織田ヶ浜と唐子浜は近接しており、海岸植生に類似点も多い。連続した保全域の設定により大規模攪乱による絶滅のリスクも低下させることが期待できる。



写真の撮影年月：21年6月

写真の説明：ハマニガナ

## サイトの管理計画・モニタリング計画

管理計画の内容	モニタリング計画の内容
<p><b>【管理計画の内容】</b></p> <p>2023年～2028年（5カ年計画）</p> <p>4月 自治会と統治責任者による年間管理スケジュールの打合せ</p> <p>5月 草刈り</p> <p>8月 海岸清掃</p> <p>9月 富田小学校4年生授業（織田ヶ浜生動植物マップづくり） 統治責任者、学校、自治会、愛媛県生物多様性センター、NPO等関係者打合せ</p> <p>10月 富田小学校4年生授業実施</p> <p>12月 草刈りおよび海岸清掃</p> <p>他、台風等による影響が生じた場合は、モニタリング対象種等の状況把握や砂やゴミの除去等を適時行う。</p> <p>他 地域住民との学習会（生態系のご説明会開催計画）</p> <p>※15年度より同等の内容であるが、活動人員の力量向上を工夫して実施していく。</p>	<p><b>【モニタリング対象】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・植物（希少種2種）</li> </ul> <p><b>【モニタリング場所】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・織田ヶ浜</li> </ul> <p><b>【モニタリング手法】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・目視</li> </ul> <p><b>【実施時期及び頻度】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・夏季秋季は毎月冬季春季は2ヵ月毎</li> </ul> <p><b>【実施体制】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・愛媛県生物多様性センター、NPO法人森からつづく道との共同作業</li> </ul>